

平成27年度 十日町市・中魚沼郡社会科部 活動報告

部長 小林 圭介

1 研究主題

資料活用力の育成 ～地域素材の教材化～

2 研究の概要

(1) 期日 8月21日(金) 14:00～16:00

(2) 会場 株式会社エヌプラス(温泉とらふぐ養殖)及び清津倉庫美術館

3 研究の実際

(1) 株式会社エヌプラスの「温泉とらふぐ養殖」について

講師 株式会社 エヌプラス 事務局 山崎喜久一郎 氏

十日町市中里地域の資源を活用するために遊休施設であるミオンなかさとのプール棟において、そこから湧出する温泉と施設を有効活用し、海に面しない里山における県内初の温泉とらふぐ陸上養殖の事業についての説明を受ける。

温泉を利用して養殖する「温泉とらふぐ」は次のような特徴がある。

- ・海水の塩分濃度より低い養殖水で飼育するため生理食塩水に近似し体液浸透圧調整のためのエネルギーが少なくすむため海産より8%早く目標重量に成長する。
- ・完全閉鎖循環式養殖のため病気の侵入を阻止できる。
- ・海上養殖の場合は温度の低下する冬の成長が低くなるが、施設では飼育水の温度を養殖に適した温度に保つことで早く成長できる。
- ・プランクトンの代わりに養殖用餌を使用するため無毒のフグに育つ。

(2) 清津倉庫美術館について

廃校になった清津峡小学校の体育館がリニューアルされ、作品の保管庫とギャラリーを兼ねた倉庫美術館を視察する。2015年の大地の芸術祭で出品された4名の作家による企画展「4人展：素材と手」についての説明を受ける。

4 成果と課題

地域にある遊休施設の新たな活用に取り組む関係者の努力と工夫について、具体的に研修することができた。地元に着した素材であり、教材化への大きな材料とすることができた。

配慮事項として、生き物を取り扱う施設であるため、児童生徒が見学をする際は、音や人影等の刺激については十分に事前指導をする必要がある。